

審議会等の会議結果報告

|            |  |
|------------|--|
| 1 会議名      | 第3回白山地区地域審議会   |
| 2 開催日時     | 平成24年3月28日(水)<br>午前10時00分から午前11時25分まで  |
| 3 開催場所     | 白山総合支所2階 205会議室  |
| 4 出席した者の氏名 | (白山地区地域審議会委員)<br>家垣育夫 今井直毅 笈 晴 庄山昭子 辻岡洋子 西川正志<br>服部充幸 服部基恒 藤谷さえ子 森田正孝 諸木洋巳<br>(事務局)<br>総合支所長 岡田一二三<br>地域支援員 上杉雅員<br>地域振興課企画員 小林茂樹<br>地域支援担当主幹 伊藤 勲<br>地域振興課地域振興担当主幹 松田澄子<br>地域振興課主査 沼田聡士 |
| 5 内容       | 1 あいさつ<br>2 白山地域の課題について<br>3 その他   |
| 6 公開又は非公開  | 公開   |
| 7 傍聴者の数    | 1人   |
| 8 担当       | 白山総合支所地域振興課地域振興担当<br>電話番号 059-262-7011<br>E-mail 262-7011@city.tsu.lg.jp   |

・議事の内容 下記のとおり

1. あいさつ

地域振興 皆さん、こんにちは。

担当主幹 本日は第3回白山地区地域審議会ということでご出席を賜りまして誠にありがとうございます。  
ございます。

それでは、ただいまから平成23年度第3回白山地区地域審議会を開催いたします。  
まず始めに白山総合支所長よりごあいさつを申し上げます。

総合支所長 皆さん、改めましておはようございます。各地で桜の開花宣言も行われましてよう  
やく春らしい大変よい陽気になってまいりました。

本日は平日で何かとお忙しい中、当審議会にご出席を賜りまして厚くお礼を申し上げます。  
また、平素は市の行政に対しまして格別のご支援、ご協力をいただいております

こと重ねてお礼を申し上げます。

本日の会議につきましては、地域課題や中部エリアとして取り組んでおります地域かがやきプログラムなどについてご説明をさせていただき、皆様方の忌憚のないご意見を頂戴したいと考えております。

今日は平成23年度の最後の地域審議会となる予定でございます。どうかよろしくお願いを申し上げまして、簡単ではございますが開会にあたりあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。

地域振興  
担当主幹

ありがとうございました。

それでは、事項書に従いまして会議を進めたいと思います。

津市地域審議会の設置に関する協議第9条第5項の規定によりまして、西川会長に議長をお願いしたいと思います。

なお、津市地域審議会の設置に関する協議第9条第4項で「会議は、委員の2分の1以上の者が出席しなければ、これを開くことができない。」と規定されておりますが、本日は委員総数13名に対し、10名の方、あと1名の方は少し遅れられますが、10名の方が今現在ご出席いただいておりますので、この会議につきましては成立していることをご報告申し上げます。

また、会議は津市地域審議会の設置に関する協議第9条第8項の規定により、会議は公開で行うものとなっております。本日の傍聴者は1名でございます。

それでは西川会長、議事進行の方よろしく申し上げます。

## 2. 白山地域の課題について

西川会長

皆さん改めましてこんにちは。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、議長を務めさせていただきますので、議事進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

はじめに、津市地域審議会運営規則第5条第2項により、会議録に署名する委員は2人とし、会議のはじめにおいて指名するとなっております。当審議会ではお名前の50音順で指名させていただいており、今回の署名委員として、諸木洋巳委員、家垣育夫委員を指名させていただきますので、本日の会議録の署名をよろしくお願いいたします。

それでは、事項2「白山地域の課題について」事務局に説明を求めます。

地域振興  
担当主幹

今回の地域審議会が平成23年度最後の地域審議会となります。平成23年度をもって家垣育夫委員、服部基恒委員、藤岡さき子委員が退任され、新たに3名の方が地域審議会委員に就任される予定となっております。

これまで、地域審議会委員の皆様には、この白山地域における様々な課題について議論を重ねていただきました。

平成24年度には津市総合計画後期基本計画策定も控えておりますし、後任の地域審議会委員の方にスムーズに引き継いでいただけるよう、また白山地域の益々の発展に繋げるためにも白山地域における課題についてご意見を賜りたいと思います。

具体的には、前回の地域審議会で視察していただいた家城ラインの活用について、などが上げられるのではないかと思われますが、よろしくをお願いします。

西川会長           ただいま事務局から「白山地域における課題」について説明がありましたが、どなたかご意見はございませんか。

服部(基)委員       去年の暮でしたか視察をいただきまして、今年3月の17日でしたか商工会が補助を出しまして家城ラインの右側、リバーパーク真見に今年もまた200本のもみじの苗木をリバーパーク管理委員会の皆さんといっしょに植えさせていただきました。だんだんとよくなるのではないかと考えておりますので、また皆さんもお暇なときに一度見に来ていただければと思っております。

疎水百選、疎水に石が入っております、ちょうど建設屋さんのユンボが1台入っておりますのでどけてもらおうといろいろ考えておったんですがちょっとユンボでは無理やということで石を割らんらん状況です。直接観光協会を通じて前葉市長にもお願いをしたんですけどもここ1、2週間ですぐにはどうにもできないみたいで、まあこれから時間をかけて石を割りながら続けていきたいと地元の方はそんなふうを考えておりますのでまたその時はひとつご協力をお願いしたいと思います。

西川会長           それはひとつ予算を付けてもらわんとあかん。

服部(基)委員       そう簡単に割れない。5トンあって。川の石は山と違ってなかなか割れないらしい、硬くて。

西川会長           今の時代割石を使うことがない。昔は現場に使ったが、それが今はないのやな。

服部(基)委員       ユンボでは1トン半ぐらいまで。クレーンでは入るところがない。

西川会長           クレーンでも普通のは1トン半から2トンまで。入っても足場が安定しないと釣れない。

服部(基)委員       前に言ったように自然で川が変えたので無償で県が取り除いてくれないといけない、本来なら。折角の文化施設やのに。

西川会長           いっぺんにはできない。

服部(基)委員 10年かかるつもりで。

西川会長 10年も経ったらまた詰まる。台風が来て。

服部(基)委員 まあそんなことで皆さんにはご厄介かけたんですがすぐには無理ということで。

西川会長 これは役所へも要望しながらいくということで。

服部(基)委員 県へも要望書は青木議員を通じて出したんですが。

西川会長 ほかにございませんか。

筧委員 家城ライン以外のことでよろしいですか。

西川会長 はい。白山町全般のことで。

筧委員 3点ほどお願いしたいと思います。一つはこれは県の事業の部分なんです、グリーンロードバイパスの延長について、特にマックスバリュからの部分、私達の二本木地区の部分になってくるんですが、3月20日ごろに地権者に関わる人々の説明会があったということですが、それを含めて今後どういうロードマップでいつごろ開通するんかということが地区でだれに聞いてもなかなか決まった返事がないんですが、どういう形のロードマップで開通していくんだらうかということ、もし市の範囲内でわかったら教えていただきたいなと思うことが1点です。

それからもう一つは、今回学校統廃合というのがかなり津市の中でも行われてきているようです。過日テレビ等でも報道されたように、安濃地区はもう1校になりましたし一志地区も今2校方式か何校方式かということいろいろ論議が出ているように思います。白山においても前々回の時にちらっと出ていると思いますが、白山においてもやっぱり統廃合ということが緊急の課題と思うんですがどういう形で進められているのか、どういう危惧があるのかということが2点目です。

それから3点目ですが、私農業をしているんですが、農業にとって一番の課題というのが獣害です。過日、農協のそういう研修会がありましたし、いろんな形でしているんですが、その中でも少しお話をさせてもらいましたが、今回2,000頭とかかなり獣を捕っていただいております。しかし、それはある面捕りやすいところのを捕っていただいて、例えば今鳥獣保護区、ちょうど林業センターの前が鳥獣保護区なんですがあそこに鹿とかがたくさん寄ってきているんです。いろいろ囲い組みをされているんで今雲出川のところが獣道になってあそこからもどンドン下へ行ってあいているところにきているんです。だからそこへ逃げ込めばなんともしようがないと猟師さん自身が言っていた

だいているんです。縦割り行政の中で農林水産はそうするけども環境保護なり動物愛護というセクションはそういうところはしないといううまくとれていない部分があると思います。いろんな形で予算が付けられていますが、そういう部分の一体化した防除と駆除と頭数管理、動物愛護の部分を含めたそういう一体化した取り組みがとても大事じゃないかと思うんですけれどもそうしたことを今後地域としても要望していただきたいと思いますと思うんですけれどもその3点だけお願いしたいと思います。

庄山委員 関連質問よろしいですか。

西川会長 はい。

庄山委員 すみません。遅れてきて大変申し訳ありません。ちょっと関連して、この会議でお話ししたいなと思っておりましてお願いしますが、3点目の獣害についてですけれども全く同じ意見でございまして、鹿でいいますと良い鹿ばかり捕って悪い鹿は捕らない。良い鹿というのは鹿と人間とは住み分けをしなくてははいけませんので環境を考えますと、鹿は山の奥の方で人間は里でというふうな住み分けをしなければいけないと思うんですけれども、つまり山の奥の方における良い鹿ばかり捕れて里へやってきて人間に悪さをする悪い鹿は残っていくという現状です。悪い鹿というのはなかなか捕りにくい、人間の家の住宅の近くということで鉄砲も打てないので非常にむずかしいと、昨日も165号線を走っておりましたら3時ごろの車がどんどん走る明るい時間に鹿が草を食べているという状況を見ました。もうこれは本当になんとかしなければいけないと思うんですが、鉄砲ではなかなかあの地域見えるところを打つわけにはいきませんので、まあ例えば里山の散歩道のような田んぼぎりぎりの線をちょっと開発していただいて人間の通る散歩道を作っていただきPRしていただきますと人が通れば臭いが付きますので鹿はだんだん山の方へ行くと、そういうふうなことをしないといろんなところでフェンスを張ったり、柵を付けたりと色々私たちとしては努力をしているんですがそれだけではもう絶対鹿との戦いは終わらないと思います。この戦いに勝つためにはそういうふうなどんどん鹿を山の方へ追いやるような工夫を白山町地域全体でやらないと、どっかがやってもそこへはこないけどよそへ逃げて行くというような状況ですのでぜひ行政の方でそういうような対策をしていただきたい。今そのような対策があるのであれば教えていただきたい。よろしくお願いします。

西川会長 事務局説明をお願いします。

総合支所長 一気にようけ質問いただきましたので、私のわかる範囲内でちょっと説明させていただきたいと思います。

まず、1点目のグリーンの延長につきましては、今年の2月に二本木区、また川口の

一部の方集まっていたきまして法線等の説明をさせていただきました。先ほど覧委員さんが言われましたように3月の20日には地権者に寄っていただきましてたぶん法線用地等の協力をお願いをしたと思います。要は今あるマックスバリュから広瀬橋までタッチをする形になりまして大村川に40mのスパンの橋梁を1基かけるということでちょうどイケダグリーンさんの上へ出てくるということでございます。今私ども聞いておりますのは、要は来年から用地測量と一部用地買収をはじめさせていただくということで、工事につきましてはとりあえず今の県道二本木御衣田線広瀬橋の方から改良させていただくということで、県もかなり予算的に金がないということで私が感じましたのは完成までには10年ぐらいかかるのではないかと思います。

今井委員           この話国土交通省の担当に変わるとか。

総合支所長           県道改良でいきますので、グリーンロードは農林省の関係ですがあその部分だけは県道のバイパスということで。

今井委員           国土交通省ということは国から金が出るということか。

総合支所長           そういうことです。国からも一部出て県も足してやっていくという形になります。

西川会長           二本木御衣田線に関しては、3月2日に県へ白山では二本木御衣田線1本に絞って要望してありますので、この間津建設部から色々説明していただきましたが、24年度に入って測量して用地買収に入ると、順調よういけばいいけど予算の加減も大震災の関係上いっぺんにつくかどうかは断定できないということです。一応極力努力はさせてもらうということで、これは放っておくことができないここまできているんやでということで説明はしてもらいました。そのあと20日の日に白山で寄っていただきましたなあ。

せやで順調にいったら2年ぐらいで用地買収ができるかなあという状況でした。あと工事47mの大村川の橋、一気ににはできないと、2、3年はかかるとは思いますけど10年もかからんと思いますなあ。早くて5、6年やと思うけど順調にいつて。予算の関係で10年の可能性もあるかもわからんけど。

覧委員           今から3年ぐらい前から立ち上がってきて2、3年先にはと思っていたんですが、かなりかかるんですね。

西川会長           立ち上げは平成20年ですが、それから3年かかっている、まだ平成30年ぐらいか長く思ってもらわな仕方がないと思う。

覧委員           わかりました。あさって地区の寄り合いがありますので。

西川会長

まあそんなにはかからんと思います。

着工してもらうまではこれ1本で要望していくということで進めていきます。連合会として毎年要望は出していますのでそれだけ報告させていただきます。

総合支所長

小学校の統廃合についてですが、私も一志に3年おらしていただいて、波瀬がほとんど複式学級になったということで小学校の在り方検討会というのを波瀬地区で立ち上げていただきまして自治会とか保護者の方に入らせていただきまして検討していただきました。波瀬が平成26年までになつても統合したいということがございまして、そのあと一志地区で小学校在り方検討会という一志町全体のを立ち上げまして、それぞれ学校関係の役員の方とか先生、自治会の方とか入らせていただきまして数回会議を開いたんですけどもなかなか教育委員会としては本音を出してこないということで、要はその地域でまとめてほしいとこういう話でございまして、教育委員会の考え方は要は複式学級を解消したいとこういう話しか出てきませんので、例えば波瀬と大井とひつついて高岡にしたらいいとか、川合にひつついたらとか言う話は教育委員会からは一切出ませんでした私がいる間は。一志については恐らく今会議をして一志町全体で2校でいきたいとこのような考え方もございます。まだ最終的にどのようになったかは聞いておりませんが、波瀬は去年小学校へ入られた方が1名ということでなつても地域としては自治会全体が26年までにはひつつきたいということで、それも大井へつくのはだめだ高岡へつきたいとこういうような意見が出ておりました。

今年も私中学校の卒業式に参加させていただいたんですけども卒業されるのが全体で90名でして、単純に5で割り増すとそれぞれ入学される方が10名前後と、まあ白山町出生が多分100名を切っておる状態ですので80名から90名の方が入学という形になりますので恐らく八ッ山小学校とかは複式学級が増えてくると思います。

白山全体で小学校をどうやっていくんだというのは近々話が出てくるとこのように私は思っております。教育委員会がおりませんので詳しい説明はできませんが私はそのように感じております。

森田委員

ちょっとよろしいですか。今の問題に関連して、一度聞いたことがあるんですが、詳しくはわからないので教えてほしいのですが、いまのお話を聞いておりますと、教育委員会の考え方ははっきりしないけど複式学級をなくしたいということはひとつの基準があると思いますので、裏を返したら減ってきたら統合せえということやと思うんですけども今現在の複式学級は何人という基準はどうなんですか。

総合支所長

基準ですか。今日はちょっと資料を持っておりませんが。先生前に2人見えますので。

筧委員

学年によって違うんですが15名でしたか。

庄山委員 1年生だけはもっと少なかったかな。

総合支所長 基準はありますので。

森田委員 ちょっと客観的に思ったのが、複式をなくしたいということは基準が広まってきたらおのずとせえというのと同じですわ逆に言うたら。

庄山委員 現在複式は八ッ山小学校だけです。あとはないです。

森田委員 全部ですか。

庄山委員 いえ、部分的です。

森田委員 また途中で基準をクリアできたら戻るということ。

庄山委員 例えば1年生が6人で非常に少なくても相手の2年生が十何人おると複式にならないんですわ。だからそこらへんが複雑で8人以下とっていてもこちらが6人で1、2とやろうと思っても2年生が非常に多いと複式にならないところがあるんです。

森田委員 どんな理由かなあと。ほかのところはちゃんとやっているんですね。

庄山委員 ほかのところは6人で少ないところもあるんですが複式になっていないです。多分家城も少ない学年がありますけど複式にはなっていないと思います。

森田委員 相棒が多いで。ちょっと複雑ですね。全体的からいくと今少子高齢化を言われていますからなる可能性は高いですわな。

寛委員 安濃町あたりはそういうの見越してできるだけ早い段階からきちんとしておいた方がよいのではないかという形でシフトしていってもう一挙に統合したと。

森田委員 慌ててしとるよりは。白山もその可能性は。

寛委員 校舎建築とかいろんな白山の将来の教育行政も含めていったときに、そこらあたりをきちんとしていった方がよいのではないかというトータルプランの中できていますのでいままでどっちかという複式になったでということではおったと思うんですがそういう動きが出てきているということです。



- 森田委員 30年前はこんなに少なくないので考えなくても良かったですが。今は同じ教室で考えられませんよね。
- 諸木委員 今年の家城の卒業生が7名で、今度1年生で入ってくる子の内3名が自衛隊ということ。自衛隊さんずっとおらへんのに。
- 西川会長 この24年度は芸濃町が統合するんやな。統合するといろいろ校歌の問題があるらしいな。統合された方の校歌が出やんということで色々難しい面があるようです。
- 今井委員 この前幼稚園と保育園の卒園式があって、81人の卒園でその子らが小学校へ行くんであって、倭の場合18人が卒園して今度14人入ってくると。
- 西川会長 今度3年生のなる子が少ない。川口でも8人。
- 庄山委員 うち3年生ですけど6人です。それでも倭は複式にはなっていない相棒が多いので。
- 西川会長 2年生も3年生も多いわけやでそうってくる。うち川口も今度3年生になる子は8人ですわ。9人入学して1人仙台の方へ災害で避難しておった子が帰ったので8人です。
- 森田委員 ようわかりませんが、今ちょっと探してもらっている間に。例えば、複式学級になりますとメリット、デメリットがあると思うがどうなんですか。生徒側から考えたときに、そら勉強せんだらあかんけどもいっしょにしておるわけですわな。
- 庄山委員 担任の先生が一人になるわけですわ。普通ですと4年生相手やったら4年生の勉強だけ担任と4年生の子たちはするわけですけども、その担任の先生は3年と4年をいっしょにしなければなりませんので4年生だけを教えておって、3年生はちょっと自習みたいなことを、今度は3年生を教えて4年生は自習するというようなことです。
- 森田委員 時間はいっしょやでね。
- 庄山委員 メリットはないと思います。ただ、人数が少ないから5人だけで体育をしておってもなにもできませんわね。だけでも6人と5人と合わせたらちょっとしたことができるかなというのでそれだけであとは何もいいことはない。
- 筧委員 2学年で兄ちゃん、姉ちゃんみたいな家族的な雰囲気のある群れ集団ができるという、単独のクラスでしているより2年生と3年生やったら3年生はお兄ちゃん、お姉ちゃん2年生は妹、弟という群れ集団の部分という社会が作れる。今はもう少人数でこれだけ

厳しい競争の世の中でもまれるというのが僕はとっても過保護というか、ほんとに小さい部分で先生とのこともあると思うが、もっともっとグローバルな部分で鍛えた子どもたち広い視野を持ったというのはやっぱり大勢の中で鍛えられるということがとっても大事で昔のような仲良くしてという部分、もちろんそこは失ってはならんことやと思うんですが、もうひとつこれからの大事な資質的なものをしたときにやっぱり少人数、小さな学校ではやっていけないことがあると思います。だから、そういう面でどんどん進んでいくし、そういうことを見越した形の教育プランをもっていかなくてはいけないのではないかという気がしているんです。

服部(充)委員

ちょっとすみません。参考になったらと思いますので。

僕、元取なんですけれど、高校の時昭和32年、その時の戸数が元取全体で布引、大広、塩見、開拓含めてですが約160戸ありました。その時の人口が約810人ぐらい、現在3月末で元取の戸数は約60戸、人数は140人弱です。若干違うけど3月20日現在で、自分らの小学校の時は27、8名おりました。現在元取は3名か4名ぐらいで本当に元取は悲惨な姿なんです。この間も婦人会の総会で言わせていただいたのですが、過疎化が激しいです。いかにこれを維持していくかということ津市全体で考えていただきたいと、余談になりましたけどそんな現状でございますので報告をさせていただきます。

筧委員

そうするともう鹿のほうが多いんですね。

服部(充)委員

そうですね。保健休養地へくと7、8頭必ず見られます。

森田委員

2つ合わせて16人とは。

筧委員

だから、1年生と6年生は優遇、6年生については1年の優遇。1年生については8人以下ですのでかなりの優遇がされている。だから2年生から5年生だったらその2つを合わせて16人以下だったらもうあかんと。

森田委員

学年違ったら同じこと教えられないので半分は遊んでいるんですか。

庄山委員

教育委員会としては担任の先生1人で2学年を教えることは大変なので補助の先生、講師ですけど入ってもらってやるというふうにかなり努力はされていますね。

森田委員

僕らの時は55人やったでなあ。えらい違いやなあ。

今井委員

庄山先生見えるとき白山中学校は何クラスでしたか。

庄山委員 3、3、3の9クラスと、障害児学級がありました。

服部(基)委員 関連してよろしいですか。

西川会長 はい。

服部(基)委員 当時幼稚園と保育園なんですが、同一地内に幼保一体を叫ばれていっしょにできるよ  
うにと、今厚労省と文科省の縦割りの中で進んでいるのかどうかわかりますか。

総合支所長 ちょっとわかりかねますが。国会で子ども園のような形ですのような法案を作ってい  
るようなことは聞いておるのですが、

服部(基)委員 まだ国の段階ですか。

総合支所長 勉強不足ですみません。

西川会長 結局あれは厚労省と文科省と別れているので。管轄が違うので。

総合支所長 今の政府はそういう考え方なんですが、法案自体を作ったかどうか今ちょっと確認し  
ますので。

服部(基)委員 まだその段階ならよろしいですわ。もう間もなくかなあと思っただけですので。

西川会長 ただ保育園へ行くのも幼稚園へ行くのも自由。保育園は6時まで見てもらえる。幼稚  
園は定時で1時か3時ごろに帰ってくる。

服部(基)委員 幼稚園、保育園の呼び名させ変えてしまうような幼保一体型の何かにするのか。

総合支所長 それが子ども園です。

筧委員 ある面では白山が先進的な幼保一体化という形ではないかと、これは評価できる部分  
じゃないかと思うし、そういう子ども園にうまく移行していけるのもこういうことがし  
てあればきちっとしていただけるので、白山の幼児教育にとっては意義のあることやっ  
たし、先見の明があったなあとは思います。

西川会長 今は白山だけやでな。

服部(充)委員　　今は交通面が充実していますけど。僕らの時は昭和27年に家城中学校へ元取中学校が合併した。小学校が51年ですね。自分らの子どもらが1年生の時に家城小学校へ統合した。それまで中学校は西部第二、西部分校という分校が家城へ合併当時はあったんです。その当時は自転車です。布引からも。昭和32年にやっとバスが通った。そのような現状で過去を言って申し訳ないですが。

西川会長　　今は園児バスとかあるけど昔は何もない。仕方がない。  
まあこれは引き継いでの課題やなあ。

総合支所長　　多分これで一志やそこら辺が決定しますと白山さんも複式学級を解消してくれという話に、小学校の在り方検討会的なものを立ち上げてほしいという要請がくると思います。

西川会長　　今のところ大三はその点はどうです。

筧委員　　団地も多いので。

総合支所長　　大三、倭、川口、家城もかなり減ってきている。家城は卒業生が7名でしたね。

西川会長　　今大三は小学校1年生は27名。

総合支所長　　複式学級はお手元のを参考にしてください。

獣害対策について、ちょっと係りがおりませんので詳しい説明ができませんが、獣害対策につきましては当然市としても一番大きな問題ですし、特に我々中山間地域につきましても一番大きな問題とこう思っております。先程筧先生が言われましたように鳥獣保護区へ逃げ込む数が多いという話で、ちょうど八ッ山も八ッ山神社の周辺が保護区になっておりましてかなり逃げ込んでずたずたになっている状態でございまして、確かに環境と居住の対策の関係はこれ難しいかなとこのように思っておるところでございまして、市としましても対策についてはフェンスとか電気柵等補助金についてはかなり出させてもらいました。それでもなかなか減らないということで、今特に力を入れていますのが個体数の整理をしていこうということで1頭当たりの金額を上げさせていただいて取り組むようやっておるんですが、なかなかそれも減らないということでむずかしい問題かなと思っております。特に白山町で一番大きな問題でございまして、先ほど庄山先生から里山の田んぼ道の整備をしたらどうかという提言もいただきましたので次年度から白山町の一番大きな課題として提言書的なものをまとめていただきまして市長の方へ提言していただければなあとこのように思っております。

ちょっと私詳しい数字まではつかんでおりませんのでご勘弁をいただきたい。

子ども園については今担当の方で資料を作っておりますのでよろしく願います。

- 筧委員                    よろしいですか。総合支所長からそういう力強いお言葉いただきまして本当にありがたいなあと思っておりますので。庄山さんが言われたように捕りやすいところを捕るといふよりやっぱり一番害をして僕らの百姓としての意気込みをそいでしまうようなものはやっぱり命を絶たしていただく。そしてあとは食べさせてもらうという部分のことをきちんと啓発しながらいくと、個体数1頭1万円とか1万2千円とかいろいろあると思いますが、捕りやすいかわいい奥の山にいるのを捕ってきて、どうも矛盾する部分があるかと思っております。
- 主査                        先程の幼保一体化についてですが、子ども家庭課の方に尋ねさせていただいたんですが、まだ法案も成立していないと、ただ今国会6月まで会期があるそうでしたのでそこでの成立を目指しているという段階だそうなのでまだ具体的には何も動いてない状況だと思われます。すみませんお待たせしました。
- 服部(充)委員            現状は昔に比べて猟師さんも減ってきていると思う。それも大きな要素やと、高齢者になってきて、元取地区でもかなりお見えでしたけども今は実際猟される方が2名、それも1名は名古屋から帰ってきた人で2名です。
- 西川会長                 これは色々言うとっても地区によるわけやな。一番少ないのは川口やと思う。川口は市場の奥だけに一部被害が出ておるけど。それ以外は全然知りません。いろいろ山のすその近いところが多いかな。今のところは八ッ山、大三、倭、家城も多い。川口が一番少ない。
- 諸木委員                 北家城も柵しておるで不自由らしい。
- 西川会長                 藤もしたと言っておったで。
- 服部(充)委員            霊園墓地へ行ったらすごいですよ。
- 諸木委員                 北家城も柵してあるので道路にも行けない。入ってもよう出ない。
- 西川会長                 鹿は川を泳ぐので。
- 森田委員                 見たけど上手に泳ぎますな。
- 諸木委員                 柵するのもいいけど谷間に休耕田みたいのものがあたらたらそこへ柵をしてえさを与える方法で、瞬間的にそこへ寄せると一網打尽にできるのではないかな。ばらばらやとなかなか難しい。

- 森田委員           こぶちかけてもなかなか入らないらしい。
- 諸木委員           山合いの休耕田やったら広くえさになるものを作っているのでしょうか。
- 森田委員           ふと思いましたが、こぶちをどこか一反ぐらいの空き地があったら大きなのを奥の方へかけてはどうか。入り口やなしに奥の方へえさを置いて。
- 筧委員             これからはやっぱり鉄砲じゃなく罠でないと。
- 西川会長           これは天災じゃなく人災やといわれているので。
- 森田委員           環境も考えなければいけない。
- 諸木委員           個人的に許可取ってこぶちをかけておる人がいるんやけれど、1頭につきいくらかもらうが、鹿本体を処理するのがいないという。そういうところに捕らない理由があるのではないか。
- 庄山委員           穴掘るのにすごくえらいらしい。
- 西川会長           食糧にちょっと考えたらよい。
- 森田委員           料理を考えているところありますなあ。
- 西川会長           京都の美山へおとし視察に行ったが、いろいろ工夫した料理があった。
- 庄山委員           鹿は食べるところが少ないらしいです。
- 服部(基)委員       解体する場所というか会社がない。内緒にする分にはわからんけど。
- 西川会長           結局処分がかなわないということ。  
これは一長一短があるということ。努力してもらわないと仕方がない。  
地域の人はいろいろと考えてもらっているけど。あたったことがないと分からないことなので。
- 服部(基)委員       商工会でも近く肉を売り出そうかという話になったんですが、そこらへんでつまずいてしまいました。公で売るのは内緒でするわけにいきませんので。

- 西川会長 食品衛生法でいろいろあるのではないかな。
- 服部(基)委員 あります。南の方ではしているところがあるようです。
- 西川会長 販売するのなら許可も取らなくてはならない。
- 服部(充)委員 京都へ視察に行ったんですよね。
- 西川会長 平成22年やったかな。去年は奈良やで。
- 筧委員 上ノ村でやっていただいているような百姓だけの問題、農業者だけの問題やという形では絶対解決できない。住民参加の、動物愛護も含めた多くの方できちんとしていかなければ百姓の問題としていったら絶対あかんので、地域全体の非農家の人たちも踏まえてしていくことがとても大事じゃないかと思います。処分するとかわらをかけるとかも含めてですが。
- 西川会長 出合い制にしてなあ。
- 諸木委員 165号とか家城の道路で鹿と衝突して車をたくさん傷つけとったですわ。
- 筧委員 そののはねた鹿の尻尾を取りにいく専門の人がいるとのこと。
- 西川会長 鹿というのは車が来ても止まらない。止まって中におると突っ込んでくる。外へ出ると人間の姿を見てさあっと逃げて行く。だから必ず鹿がおって車を止めたら一度ドアを開けて外へでると鹿は逃げるらしい。
- 服部(充)委員 窓開けたら必ず逃げるらしい。
- 西川会長 窓開けるとか体見せるのが一番いいみたいです。皆さん参考にしてください。人間には絶対来ないとか。車は物体に見えるので突っ込んでくるらしい。
- 庄山委員 なかなか勇気がいりますね。
- 諸木委員 夜は鹿見たらライトをバッシングすると逃げるらしい。この間も八ッ山の八対野で鹿が続けて何頭も寄ってきた。
- 西川会長 乳幼児教育センターの通り、トンネルからあそこが多い。うかうか走ってられない。

服部(充)委員 藤の上で14、5年前に美杉から帰る時に猪60kgを1頭と15kgを2頭の3頭を撥ねたが車はなっともなかった。

諸木委員 日生学園のところを反対車線を下って行った車へ山の高いところからちょうどボンネットの上へ飛んで、片方の足は車のバンパーとラジエーターのところへ入って車はもう動かなくなってしまった。それを取りに行ったことがある。

服部(充)委員 元取の人やったらもう10台ではきかんやろう。

庄山委員 車屋さんに聞きますと、そうですね、ここに10台おったら5台ぐらいは猪や鹿の獣害となっていると言ってみえました。

森田委員 このごろ直しはいいらしいです。ラジエーターも壊れてしまうと30万円も40万円もかかるらしいが。

諸木委員 名古屋から夜帰ってきたらぶつけられて30万円かかったという話も聞いている。

庄山委員 うちの隣の人もそうですわ。やっぱり夜はあきませんなあ。10時ごろ走っていたらぶつかってきて30万円ぐらいかかったらしいです。

西川会長 まあこれはひとつ課題として次の審議会でも審議していきたいと思います。それでよろしいですか。

委員 (「はい」との声)

西川会長 ほかにありませんか。  
それでは、次の事項3「その他」ということで事務局お願いします。

### 3. その他

地域振興 担当主幹 それでは、平成24年度の地域かがやきプログラム事業予算についてご説明させていただきます。平成24年度予算につきましては、議決前でして、決定事項ではありませんので、口頭にてご説明させていただきます。

平成24年度予算につきましては、4つの事業を計上しております。まず、「温泉を活用した健康づくり&ふれあいづくり事業」ですが、こちらは毎年10月に開催させていただく「ふれ愛フェスタ」に関する予算でして、平成24年度予算につきましては平成23年度と同額の550万円となっています。2番目に、「初瀬街道周辺活性化事業 初瀬街道周辺ウォーキング事業」でございますが、こちらも平成24年度予算につきまし



ては平成23年度予算と同額の14万円となっています。3番目ですが、「美しい河川環境づくり 亀ヶ広の桜保全事業」につきましても、平成24年度予算につきましては平成23年度予算と同額の64万6千円となっています。そして、4番目の「歴史・文化巡り今昔“街道”ウォーキング事業」の平成24年度予算につきましては平成23年度から290万6千円減の129万4千円となっております。こちらにつきましては、猪の倉温泉から青山高原に繋がるコースと近鉄東青山駅を起点に滝見台、布引の滝を経て東青山駅へ戻る布引の滝コースの2つのウォーキングコースの整備を計画しております。平成23年度に猪の倉温泉から青山高原へと繋がるコースの整備が終了しましたので平成24年度に布引の滝コースの整備やリーフレットの作成を計画しております。

布引の滝コースにつきましては、元々コース自体は整備されていますので、コースを間違えないように誘導するための指導標識の設置程度となります。平成23年度予算と比較して平成24年度予算は大きく減少することとなりました。以上をもちまして白山総合支所所管の平成24年度地域かがやきプログラム事業についての説明を終わらせていただきます。

西川会長           ただ今事務局より、平成24年度地域かがやきプログラム事業予算について説明がありました。どなたかご意見ございませんか。

今井委員           4事業のトータルはいくらになるか。

主査               758万円となります。

西川会長           予算はだんだんと減るが、課題事業となるので。

服部(充)委員       これは前からやとった継続事業でないと認めてもらえないのか。

地域振興担当主幹   そういうことではありませんが、具体的なものにならないと難しいです。

服部(充)委員       元取地区はわかすぎの里を運営しておりますけど、PRとか事業のバックアップをしていただくというのは無理なんでしょうか。

主査               全く無理ではないですが、わかすぎの里だけを取り上げるというのはなかなか難しいと思うんですが、例えばここを出発点にしてウォーキングを開くとかですね、そういった形でやるとかで契約するのは可能だと思います。それが予算がつくかというのはまた別な話ですが。

服部(充)委員       去年の秋、家城の小学校が遠足を通じてご利用されたということですので、白山町当

時第三セクター方式でやっていて、決して民間だけでやっているのではないのでなにかに加えていただければなあと思っております。

庄山委員

4番についてよろしいですか。4番目のウォーキングコース整備事業の歴史巡りのところですけども、春と秋には布引の滝に向けて東青山から西青山までとか、東青山からずっと行ってリベラルパークへ降りてくるというようなお客さんが非常に多くあるのですが、この間も2、3回東青山から登って、また東青山へ降りてきたと言われるんです。

まあうちが近くですのうちへ来られて、どう行ったらいいのかという問い合わせがあったんですけど、それで私に悪いけどリベラルパークまで車で送ってくれないかと言われて、その時は私も急いでましたのでよう送らなかったんですが、そのような質問もよく言われます。ちょっと案内が初めての方には難しいのかなというふうに思いますので、今年またこれをしていただくのでしたらもう一回東青山からずっと上がって行って西青山に行く道とリベラルパークへ降りてくる案内の矢印ですね、それをもう一度検討していただくとありがたいなあと思います。

森田委員

直線とかはいいけど分かりにくいところがありますのでそういうところは集中するといいのかな。

庄山委員

地図は持ってみえるのですが、多分その地図だけでは分かりにくいところがあるのかなあというふうに思います。

今井委員

今行政から布引観光協会へ何らかの形の支援、補助金とかが出ているんですか。

地域支援担当主幹

観光地の美化という形で委託させてもらっております。

今井委員

それでは布引観光協会の方でそういう案内看板をちゃんと作ってもらって、あの人らしゅっちゅう歩いてみえるらしいので、そこへ委託して今庄山さんが言われた道案内の看板を整備するとか、かなりあるんですよ。東青山まで何キロとか。

地域支援員

距離かなりあるんですが、今までの古い看板も立っているところもあるんですけど24年度で東青山から指導標識、木柱の大きな看板で残りあと何キロとかコースとか示したのを要所要所に立てて一般の方が来られても分かるような形にします。東青山からリベラルパークへ降りてまた東青山へ行くと、その間には布引の滝をまわるコースがあると、山の上の方に行けばいろいろ立っているんですが、里の方には山道、路地道もあって間違えられるのです。

庄山委員

はい、山道があるので間違えられるのです。

- 森田委員 駅から降りてきて間違っとうろうろしてみえます。位置を逆に来ますやろ、行く時にも西青山の方もわかりにくいんです。近道もあったのかと。そういう紛らわしいところだけ集中してやっていただきたい。直線で道がついているところはわかりやすい。判断ができにくいところをお願いしたい。
- 今井委員 三角点から向こうは青山町ですよ、管轄が。布引観光協会は三角点からこちら側やね。
- 森田委員 あれちょっとややこしいです。青山高原の分水嶺が伊賀市と津市が入り込んでいる。
- 今井委員 三角点のところにちょっとした休憩所があって、そこには結構マップがあるが。
- 庄山委員 マップは持ってみえるんですが、先程も言われた普通の山道とはそこで迷われるようなんです。行っても戻ってみえるとかそういう方がよくありますのでなにしろよろしくをお願いします。
- 服部(充)委員 地域的にはまあ例えば八ッ山地区とか川口地区とか出てこなくて偏っているような、若干家城の場合は真見の家城ラインのことを言ってもらったが1年にひとつぐらいは変えていってもらうのがいいと思うんですが。
- 西川会長 川口は交通量が多すぎてわりにはないのです。
- 服部(基)委員 全体の話なんです、3項目をやっているわけですが、行政と自治会で何かひとつ事業をするのに予算要求をしていただいたらどうかと思います。
- 西川会長 その話は出ている。八ッ山と川口はわりには何もないということは。ところが目玉がない。あっても白山比咩神社だけしかない。ところがそんな神社に向けて予算つけてとは言えない。
- 服部(基)委員 仮にウォーキングやったら回ってきてそこへ寄るとするのはよいので、何か事業を立ち上げないことには予算を付けてもらえないので。
- 諸木委員 先程から地域の問題も出ておりますが、家城ラインの整備、真見の方は終わりましたので新規で瀬戸ヶ淵の方を直してほしいと思っております。家城の真見地区が終わったので予算打ち切りということでなしに、その分を場所変えてなんとか考えてもらいたいと思っております。

- 西川会長           それはまあ継続した形で引き継いでもらわな仕方がない。両方するのは無理。
- 地域支援員           真見のところは自治会さんに委託して少しの金額20万円ぐらいでしたと思います。もみじをいただいたので遊歩道にという形で整備をしたということです。瀬戸ヶ淵につきましては災害復旧の中で改良し、諸木委員さんにもお世話になりましたが一応形だけできました。家城ラインとセットでの事業を考えていただきまして、白山地域で向こうばかりと言われますが、地域かがやきの中でも初瀬街道という形で地域から上がってきましたのである程度事業としておりまして、今年度は青山遊歩道400万円ぐらい、内県からも補助金をいただきまして階段をつけ、ベンチを置きました。次年度に布引の滝ということでこの2つが整備されますと美杉がしておりますセラピー基地として認定を受けて観光客を呼び込もうとそういう考えでおります。また、瀬戸ヶ淵の方も名勝ですので検討していきたいと思います。
- 服部(基)委員       町時代には藤原千方の昔からの物語を取り上げてやっていたのがだんだん廃れてきてなにも言わなくなってしまったので、そこらも兼ねながら新しい事業をひとつ自治会と行政とが相談して起こしてほしい。
- 地域支援員           名松線を利用して歩くコースなどですね。
- 諸木委員           この間、白山からではなく津市から藤堂の、瀬戸ヶ淵の上の水の流れの悪い所の川を広げたという形跡があると言って、大きな何十万もするような石碑を建てさせてくれということで建てて行った。なんでころころ変わるのか、実際力を入れなくてはならないところへ入れなくて、高虎さんの方が上になってきたようで。
- 森田委員           いきなりにですか。
- 諸木委員           そうです。そこまでして瀬戸ヶ淵にしなくてはいけないんやったら全体をもうちょっとなんとかしてほしい。
- 森田委員           どのような碑ですか。何と書いてあるのですか。津市がしましたのですか。
- 総合支所長       私のところは聞いておりません。
- 諸木委員           観光課です。
- 西川会長           藤原千方はわかっているも藤堂高虎は家城でどうのこうのとは聞いたことがない。ただ、藤堂高虎の家来が一志やとか。

諸木委員            そういう立派な石碑を建てるならきちんとしてほしい。

森田委員            どこに建っているんですか。

諸木委員            千方の横に建っている。

庄山委員            瀬戸ヶ淵のところへ建てられたのですか。

総合支所長         それ市が建てましたんですか。

庄山委員            総合支所長が知らんとはおかしい。

服部(基)委員        なにかひとつ新しい雲出を語る会とか。

今井委員            雲出物語とかいうのではないか。

西川会長            海、川、山、それを合同で色々やっている。多分それやと思う。  
山を植林し木を大きくして川をきれいにして海へ流すという、海、川、山の雲出川物語これがそうやと思う。

庄山委員            その組織はどんな組織なのですか。

今井委員            県の外部団体やは。

笥委員             一番の母体になったのは久居のJCやったか、久居の商工会の青年部やったかで、そこからカヌー下りやいろんなイベントを子どもたちを集めてやってきて、津市になったのでさらに一体化して上流から下流までということではないかと。非常に頑張って新しい試みをやってみえるようです。

西川会長            会長は畑井さんという人やと思うけど。

今井委員            小泉さんも絡んでいると思うが。

西川会長            漁業組合とかも。

今井委員            関連でちょっと聞きますが。  
ここに会員で庄山さんと笥さんがみえますが、白山みちしるべ会という観光ボランティア

ィアガイドが今度県の補助をいただきましてホームページを作りました。2月末でやったのですが、白山5地区どこもかもをホームページで案内しますので、ここを宣伝してほしいということがあれば、またこんなイベントをやっていますということがあれば私か寛さんか庄山さんの方に流してもらえればすぐに取材に行きますので、写真も撮りに行きますので。そういうことを今やっております。一切お金はかかりませんので。ただでやりますから。いろいろここにみえる伊藤さんにもお世話になっておりますが、やるということのできましたのでちょっと宣伝がてら報告まで。

寛委員

今の今井さんの話しや服部さんの話などにも関連しますが、やっぱり新しい事業を立ち上げるということで、例えば昔の旧軽便鉄道、ここらも今結構注目を浴びてきて、ひょっとすれば川口駅を起点にああいう形のものもできる、初瀬街道だけではなくて新規のそういう事業というものも構築できることがあると思いますので、やはり白山全体を幅広い形でひとつのところに、まあ今までは重点的にされたと思いますが、そういうものも発掘しながらより良いものをしていくということが大事なあとだと思います。川口駅を起点に軽便道を歩いてみて駅のあそこら辺りまで行ってみようかなというルートの開拓なんかもしていったら面白いイベント、事業が構築できると思いますので。その中でかがやきプログラムというのも継続、継続だけでなく新しいものも常に模索しながらしていくことが大事じゃないかという気がしております。

服部(充)委員

ちょっとすみません。5地区、5地区と言われますがうちも1地区入っておりますので。

今井委員

失礼しました。

諸木委員

家城、元取で1地区となっているからかな。

服部(充)委員

でも、自治会費も払っているし、連合自治会にも地域審議会にも出させてもらっているのやで同等に扱ってもらわないと。ご理解賜りたいと思います。

今井委員

公民館講座で2年間案内させていただきました12終わりました。これが大体9時半から11時半までの2時間コースで全部マップにして写真もつけてホームページで流すことを考えております。

西川会長

そういうことも大事なことやな。ただ、何かにつけてやるのには金がかかるのでその予算がついてさっさともらえればよいがもらえない場合もあるが、そういう形でやっていただくのは良いことやと思います。

ほかにございませんか。

今井委員                   きのう発表された人事異動の主なところを教えてください。

総合支所長               私この3月31日で退職ということでございます。私の後任には今美杉の市民福祉課長をしております中西義照が総合支所長ということで、副支所長はそのまま森川が残りますので、地域支援員さんは今度津市の監査室長をしておりました私の同級生ですが後藤 久という二本木の大三駅の下の店のです。それと、危機管理担当の島田も退職でございますのでその後任に白山出身なんですが小市雅義が課長職としてきます。産業振興・環境担当副参事課長級ですが峰田が美杉へ戻りましてその後任に一志から鈴木正則がきます。市民福祉課長は唯一そのままでございます。ここにみえます小林さんも退職でございますのでその後任に倭出張所長の辻川正仁がきます。あと優秀な伊藤君と松田さんは残っていただきますので、若い沼田、彼も本庁へ戻ります。よろしく願います。

西川会長                   よろしいですか。あと何かございませんか。

諸木委員                   その他の項でお願いしておきたいのは、前にもちょっと言いましたけれど防災がやかましくいわれている中で、前は各戸に防災無線がありました。今は地域にスピーカーで流されています。それがかなり聞こえないという話がありますので、これだけやかましく防災防災と言われているのになかなか直してくれないので、この間も課長に頼んでおいたのですがひとつも改善されないので再三お願いしてもらいたいと思います。

総合支所長               それは地域にある大きなのですか。向きを変えたら良くなるのかそういう感じでもないですか。

西川会長                   雨と風で家を締め切っていると全然聞こえない

総合支所長               それは全体的にそうなんですわ。台風の時はその苦情がものすごく多いです。

諸木委員                   近くに2つあるが上を飛んでいってひとつも聞こえない。

総合支所長               ちょっと向きを変えたらどうですか。

諸木委員                   東町と北家城にあるが、北家城は下の方にあるのでこっちへは聞こえないし、東町のは上を飛んでいって聞こえない。どういうことを言っているのかも把握できない。

西川会長                   あれも地区地区にあるのならよいがないので。例えばうちは御衣田下の方やで茅刈のは全然聞こえない。

諸木委員           もっと高い所からしてあるのなら良いが、平地へかけて遠い所へ飛ばそうとしてあるので割合と家を越してしまっていて分からないのではないかと思います。

総合支所長           結局合併してその部分はやっぱり後退しましたですね。ほかに河芸とか津とかはそういうのがなかったです。合併して新しくできたということです。

西川会長           これは白山全体どこでもそうやと思う。一志の方でも聞こえないと言っている。

服部(充)委員       白山は前に徹底していたから、それだけに住民は感じるのですな。

西川会長           今度台風が来たときに直してもらってあるかどうか確認して要望していただきたいと思います。

                          よろしいですか。なにもございませんでしたら、事務局ほかにありませんか。

地域振興  
担当主幹           先程もお話しさせていただきましたが、白山地区地域審議会におきましては、家垣育夫委員、服部基恒委員、藤岡さき子委員が退任されまして、海野ミネミさん、山中啓生さん、森川とよ子さんが新たに白山地区地域審議会委員に就任していただきます。家垣委員、服部委員、藤岡委員におかれましては、ご多忙にも関わらず白山地域の発展のためにご尽力賜りまして誠にありがとうございました。

( 全員拍手 )

                          今後とも白山地域はもとより津市政にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

                          本日お出しいただきました白山地域におけるいろいろな課題につきましても、新しい委員さんに引き継いでいただき、検討を重ね、善処していきたいと思います。本当にありがとうございました。

西川会長           ほかにありませんか。

今井委員           来月13日の委嘱式、またこちらへ戻ってくるのですか。

地域振興担当主幹   戻ってきていただきましてここで第1回の地域審議会をお願いしたいと思います。

今井委員           本庁でやったらどうなん。

西川会長           あかん。こっちでした方がいい。



地域振興担当主幹 会場の関係もありましてこちらでお願いしたいと思います。

総合支所長 本日は熱心にご審議をいただきまして本当にありがとうございました。また、皆様には2年間大変お世話をおかけいたしまして、本来ですと市長がお邪魔してご挨拶を申し上げるのが本意ではございますが、今日は議会の最終日でございますので出席をしております。私の方から一言お礼のご挨拶をさせていただきます。

皆様方にはこの2年間、総合計画の進行管理をはじめ地域振興策や生活環境の整備など熱心にご審議を賜りました。ただ、地域振興策などにつきまして地域課題をとらえ市長に提言していくスタンスが十分に発揮されていなかった部分につきましては事務局として反省をしているところでございます。今後の地域審議会の在り方の見直し、また新たな地域づくりなど次年度からの検討課題として取り組みを進めていかなければならないとこのように考えております。

地域を思う熱い気持ちで町づくりにご協力ご指導いただきますようよろしくお願い申しあげまして、最後になります。西川会長さまはじめ委員の皆様へ深く感謝を申し上げ、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。2年間本当にありがとうございました。

( 全員拍手 )

西川会長 ご苦労様でした。

それでは、家垣委員さん、服部委員さん、長い間ご苦労さんでございました。

また、側面からご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

本日はこれで終わらせていただきますが、また4月13日の12時50分にここへ集合していただいてバスで本庁まで行って、また帰っていただいた後第1回目の審議をしたいと思ひますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

今日はどうも本当に色々ありがとうございました。